

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 256 号 ★★★

日本プロテオーム学会 2017 年大会（JHUP0 第 15 回大会）のご案内 No. 1

日本プロテオーム学会会員の皆様

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日本プロテオーム学会 2017 年大会（JHUP0 第 15 回大会）を、7 月 26 日から 28 日の 3 日間、大阪府吹田市のホテル阪急エキスポパークにて開催します。

本大会のテーマとして「プロテオームは爆発だ～医療に変革を～」を掲げ、わが国のプロテオーム研究をいかに活性化するか、また、プロテオーム研究の成果や技術を使ってどのように医療に変革をもたらすかについて、皆さんと一緒に考え、議論したいと考えています。また、医療の変革の基盤となる基礎研究や最新のプロテオーム解析技術に関するセッションも設ける予定です。さらに、初日（26 日）の午後は、これからプロテオームを始める研究者やプロテオーム解析経験者を対象として、他の学会や研究会では聞けないような解析のノウハウを紹介するテクニカル教育セミナーを予定しています。

招待講演者として、ヒトプロテオームデータベースの構築だけでなく、クリニカルプロテオミクスの分野でも精力的な仕事をされている Akhilesh Pandey 教授、創薬プロテオミクスの第一人者である Benjamin Cravatt 教授、リン酸化プロテオミクスの臨床応用を目指した研究をされている Steven Pelech 教授と Benjamin Ruprecht 博士および韓国 KHUP0 との交換講演として Cheolju Lee 博士をお招きしております。

本大会では、特別講演、シンポジウム、ポスターセッション以外に、企業の技術紹介のイブニングセッションを設け、企業の方々に自社製品や自社開発研究を紹介していただく予定です。さらに、学術企画だけでなく、懇親会でも参加型企画を計画しておりますので、多くの方々に参加していただき、懇親を深めていただければと思います。

プロテオミクスにご興味をお持ちの幅広い分野の専門家や若い研究者、大学院生など多くの方々にご参加いただき、皆様の研究の更なる発展に結びつく大会になることを願っております。

日本プロテオーム学会 2017 年会（JHUP0 第 15 回大会）大会長
日本プロテオーム学会 会長
朝長 毅（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）